



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 株式会社 コア

上場取引所 東

コード番号 2359 URL <http://www.core.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 市川 卓

TEL 03-3795-5111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	14,390	4.8	802	4.4	850	5.9	541	15.3
29年3月期第3四半期	13,731	2.0	839	191.9	904	159.0	638	174.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 565百万円 (15.6%) 29年3月期第3四半期 669百万円 (261.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	38.49	38.44
29年3月期第3四半期	45.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,926	8,903	55.9
29年3月期	16,061	8,527	53.1

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 8,910百万円 29年3月期 8,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				20.00	20.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	8.4	1,300	12.2	1,300	6.0	880	9.5	62.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	14,834,580 株	29年3月期	14,834,580 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	742,662 株	29年3月期	807,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,058,857 株	29年3月期3Q	13,962,750 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業的前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、企業の収益改善に伴う設備投資の高まりや海外経済の持ち直しによる輸出の増加を背景に回復基調にはあるものの、個人消費は依然緩やかな動きに留まっており、米国の政策運営や緊迫化するアジア情勢の動向への懸念から、企業活動は慎重な状況が続いております。

情報サービス産業においては、深刻化する人手不足を補うための情報化投資やオリンピックを控えたインフラ建設に関連する需要拡大とともに、AI（人工知能）・IoT（Internet of Things）等の先進分野に対する企業投資も活発化しております。この状況を背景に、ITベンダーには変化する時代の要請に即応した柔軟な対応が引き続き求められております。

このような状況の下、当社グループは、重要戦略として設定した重点推進6分野（車載、環境、医療、社会基盤、農業、クラウド）の「深堀り」を進めてまいりました。また、全国展開のスケールメリットを活かして「横ぐし」を進めていくコアビジネスでは、GNSS（Global Navigation Satellite System）、メディアソリューションをはじめとした自社の特化技術への投資を加速させるとともに、官公庁・自治体ソリューションの全国展開、医療分野におけるソリューション提案を積極的に推進し、事業基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,390百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。利益面では、戦略分野及び特化技術への先行投資を増加させたことに加え、活発化している官公庁・自治体ソリューションの大型案件の検収が第4四半期となっていることもあり、営業利益は802百万円（同4.4%減）、経常利益は850百万円（同5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は541百万円（同15.3%減）となりました。

セグメント別の事業の状況は次のとおりです。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,125	△6.1	5,214	31.5	50	12.7	14,390	4.8
29年3月期第3四半期	9,721	△7.4	3,965	35.2	44	38.0	13,731	2.0
(参考)29年3月期	13,264		6,059		55		19,379	

	営業利益							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	268	△40.7	516	42.0	16	△25.0	802	△4.4
29年3月期第3四半期	453	3.9	363	—	22	215.1	839	191.9
(参考)29年3月期	628		502		26		1,158	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

< S I ビジネス >

基幹系業務システム関連の受託開発で一定の成果は得られたものの、金融関連分野における大型案件のピークアウトに伴う業務量の縮小を補うには至らず、売上が減少しました。

この結果、売上高は9,125百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業利益は268百万円（同40.7%減）となりました。

< ソリューションビジネス >

全国規模での自社ソリューション提案を積極的に推進したことで受注が好調に推移し、特に次世代車載システムにおける業容拡大及び大型案件の検収により売上が伸長しました。

この結果、売上高は5,214百万円（前年同四半期比31.5%増）、営業利益は516百万円（同42.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円増加し、7,540百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が948百万円減少しましたが、現金及び預金が229百万円、仕掛品が458百万円、その他に含まれている工事未収入金が380百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ214百万円減少し、8,386百万円となりました。これは、有形固定資産が141百万円、無形固定資産が84百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は134百万円減少し、15,926百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ393百万円減少し、5,026百万円となりました。これは、賞与引当金が367百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ116百万円減少し、1,997百万円となりました。これは、長期借入金が168百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は510百万円減少し、7,023百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ375百万円増加し、8,903百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が541百万円となりましたが、配当金の支払い284百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月26日に公表しました業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,693,279	1,922,993
受取手形及び売掛金	4,248,270	3,299,815
商品及び製品	196,825	176,188
仕掛品	722,949	1,181,184
原材料及び貯蔵品	51,292	52,202
繰延税金資産	324,914	176,160
その他	225,602	734,179
貸倒引当金	△2,095	△2,116
流動資産合計	7,461,039	7,540,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,759,137	1,689,621
土地	3,820,951	3,753,979
その他(純額)	483,922	479,226
有形固定資産合計	6,064,011	5,922,827
無形固定資産		
のれん	204,768	171,858
その他	360,502	308,961
無形固定資産合計	565,270	480,820
投資その他の資産	1,971,398	1,982,553
固定資産合計	8,600,680	8,386,201
資産合計	16,061,720	15,926,809
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,467,647	1,272,588
短期借入金	2,135,512	2,247,445
未払法人税等	326,072	12,073
賞与引当金	701,908	334,363
受注損失引当金	45,214	13,337
製品保証引当金	4,838	2,020
その他	739,287	1,144,660
流動負債合計	5,420,480	5,026,488
固定負債		
長期借入金	1,343,203	1,174,262
リース債務	321,153	284,881
繰延税金負債	88,814	106,316
役員退職慰労引当金	181,689	181,689
退職給付に係る負債	26,317	29,577
資産除去債務	19,665	19,964
その他	132,672	200,430
固定負債合計	2,113,515	1,997,121
負債合計	7,533,996	7,023,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	152,412	152,704
利益剰余金	8,528,112	8,831,870
自己株式	△778,721	△730,162
株主資本合計	8,342,002	8,694,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	180,588	200,490
為替換算調整勘定	13,275	14,939
その他の包括利益累計額合計	193,863	215,430
新株予約権	24,383	23,065
非支配株主持分	△32,525	△29,907
純資産合計	8,527,724	8,903,199
負債純資産合計	16,061,720	15,926,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,731,279	14,390,120
売上原価	10,640,819	11,186,589
売上総利益	3,090,460	3,203,531
販売費及び一般管理費	2,251,307	2,401,322
営業利益	839,153	802,208
営業外収益		
受取利息	173	134
受取配当金	30,109	23,341
持分法による投資利益	5,127	—
受取賃貸料	24,183	20,253
受取保険金	5,000	30,166
補助金収入	5,420	7,546
保険解約返戻金	9,095	496
その他	12,562	13,260
営業外収益合計	91,673	95,199
営業外費用		
支払利息	15,219	16,270
持分法による投資損失	—	4,411
賃貸収入原価	7,606	7,487
その他	3,966	18,479
営業外費用合計	26,792	46,649
経常利益	904,033	850,758
特別利益		
固定資産売却益	—	31,772
投資有価証券売却益	27,903	—
特別利益合計	27,903	31,772
特別損失		
固定資産売却損	—	30,575
投資有価証券評価損	—	588
会員権評価損	—	8,555
特別損失合計	—	39,718
税金等調整前四半期純利益	931,936	842,812
法人税、住民税及び事業税	172,250	136,412
法人税等調整額	124,650	162,535
法人税等合計	296,900	298,947
四半期純利益	635,036	543,864
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,682	2,751
親会社株主に帰属する四半期純利益	638,719	541,113

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	635,036	543,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	89,510	17,644
繰延ヘッジ損益	△18,158	—
為替換算調整勘定	△4,007	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△32,853	3,848
その他の包括利益合計	34,491	21,453
四半期包括利益	669,527	565,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	674,532	562,579
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,005	2,738

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,721,464	3,965,227	13,686,692	44,587	—	13,731,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	361	81,621	81,982	12,404	△94,387	—
計	9,721,825	4,046,849	13,768,675	56,992	△94,387	13,731,279
セグメント利益	453,046	363,762	816,809	22,343	—	839,153

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び売電事業であります。
- 2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
- 3 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ソリューションビジネス」セグメントにおいて、株式会社レゾナの株式を取得したことにより、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては219,394千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	9,125,408	5,214,466	14,339,875	50,244	—	14,390,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,163	67,939	71,103	12,961	△84,064	—
計	9,128,572	5,282,406	14,410,979	63,205	△84,064	14,390,120
セグメント利益	268,788	516,664	785,452	16,756	—	802,208

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。
- 2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
- 3 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。